

題は123題ものご応募をいただき、各会場とも熱心にご討議くださるなど、ご参加の方々にとって実り多い大会になったものと存じます。

本学術集會を無事、盛會裏に終えることができ、開催にあたりご支援、ご協力をいただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。

### 第16回千葉支部学術集會

学術集會会長：国立病院機構千葉医療センター院長

増田政久

2017年

3月4日

(土)、国立病院機構千葉医療センター附属千葉看護学校において『各

地域の包括ケアシステムへの導入の取り組みと問題点』

をテーマに第16回千葉支部学術集會を開催し、108名の方々にご参加いただきました。各県が作成する地域医療構想には地域包括ケアシステムの構築があり、地域住民が主体となり自治体や大学と協力し進める取り組みや各医療機関が実情に合わせて取り組む現状を多くの方々に考える機会といたしました。

前半は一般演題6題として、がん・HIV感染症・認知症患者に対する退院支援など、いずれも充実したご発表をいただきました。後半はパネルディスカッションとして、千葉大学大学院准教授 石丸美奈先生をはじめ自治体、地域住民の代表者より『地域住民主体の地域包括ケアシステムの構築』として東千葉地域における取り組みの実例や各施設における取り組みを3病院からご説明いただきました。発表後には多数の意見交換による活発なディスカッションが行われました。

最後に、本学術集會開催にあたりご協力いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

### 第16回神奈川支部学術集會

学術集會会長：独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院

院長 大井田 正人

2017年3月4日(土)、横浜の山下公園が一望できるワークピア横浜において、日本医療マネジメント学会第16回神奈川支部学術集會を開催しました。春を思わせる恵まれた天候の中、283名の参加をいただきました。今回は「医療安全の新たなスタートに向けて～医療

の質と安全の再考～」をメインテーマとし医療安全と病院経営をどう両立させていくかを再考していただく内容としました。特別講演は「医療事故調査制度発足一年間の総括」とし一般社団法人日本医療安全調査機構常任理事 木村壯介先生にお話をいただきました。パネルディスカッションは「医療安全活動がもたらす医療の質と患者満足度向上への貢献～経営改善につながるか～」と題し、コメディカル各分野で現場の中核を担う4名の先生方の取り組みを座長の内野直樹先生とフロア一体となり討論を行いました。

1題のランチョンセミナー、52題の口演、19題のポスター発表と多くの先生方に参加いただき、1日の開催ではありましたが大変濃密な内容となったと思います。

本学術集會開催にあたりご支援ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

### 第10回大阪支部学術集會

学術集會会長：社会医療法人生長会理事長 田中 肇

2017年

3月4日(土)

に第10回学術集會を大阪国際交流センターにて開催しました。今年

は717名の方にご参加いただき、～2025年に向けての医療マネジメント～をテーマに、特別講演2講演、教育講演1講演、シンポジウム2テーマ5講演、ランチョンセミナー3講演、一般口演118題と充実した内容の1日となりました。

特別講演では、今後ますます社会に求められる地域を支える医療を題材に、神戸なごみの家の理事長松本京子先生に「暮らしの中で看護の力を」、また株式会社オージェイティー・ソリューションズの浅井 司先生には「トヨタ生産方式をベースにした改善ノウハウとその事例」についてご講演いただきました。シンポジウムにおいても大変貴重なご講演をいただき、どの講演も大変盛況でした。

全てご紹介できませんが、他の講演、一般演題等も大変興味深いテーマで、充実した交流や意見交換の場となり盛會裏に終えることができました。

最後にご参加いただきました皆様、ご協力いただきました方々に心より感謝申し上げます。



会場風景



会場風景